

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第153回

公益社団法人 家庭問題情報センター かさまつ なつこ 笠松 奈津子

妻子にとって自分の存在は何なのか 疑問を感じ、離婚さえ考える男性

佐藤（仮名）さんは、中堅上場企業の会社員です。結婚して八年、妻は友人と起業し、小さいながらも会社の役員です。

佐（佐藤） 妻は四歳の娘に習い事をい

くつもさせ「小学校受験をさせたい、受験塾に通わせたい。保育園から幼稚園に変えるのでベビースッター代を出してほしい」と、要求がエスカレートしています。彼女自身の収入は教えてくれません。おまけに彼女が出張のときは、娘を私任せにします。

カ（カウンセラー） 出張というと、泊まりのときもあるのですか？

佐 日帰りもありますが、二、三泊から一週間の泊まりで、平気で私に預けるのです。

カ 信頼しているのでしょうか。

佐 利用されているだけだと思います。

カ 利用されているとは？

佐 自分の好きな仕事を続け、思いどおりに子どもを育てるために、私と私の

収入を利用していただと思っています。こんな状態では別れた方がいいかなと思うのです。

カ これまでお二人で仕事をして、お子さんをもつられたのですよね。

佐 彼女とは同じ業界の仕事で知り合い、付き合ってから数ヶ月で一緒に住むようになりました。一年半ほどして、彼女は私と同棲しながら婚活パーティに行っていました。問い詰めると彼女は「これから（この関係を）どうするつもりなのか？」と言ってきて、私としては「どちらでもいい」としか答えなかったところ、彼女に「この関係ははっきりさせたい」と言われました。

カ 佐藤さんは積極的には結婚を考えてはいなかったのでしょうか。

佐 そのときは入籍にはこだわっていな

かったというか、自分の周りにもそういう関係の男女がいたので、このままでもいいかなと思っていました。

カ 彼女は結婚か、同棲解消か、佐藤さんに決断を迫ったのですか？

佐 そういうことですね。二人の暮らしは共同生活のような関係で、お互い縛られず、家計も半分ずつ入れてやりくりし、掃除や洗濯、料理も、やれる方がやるような感じでした。結局別れるまでには踏み切れず入籍しました。同棲期間も含め、三年経っても子どもができないので、彼女は不妊治療を受けたいと言いました。

カ 彼女はお子さんがほしかったのですか？

佐 そうですね。私は、彼女と二人の生活でも満足していたので、どちらでも

カ よかったというのが正直なところですよ。不妊治療にはご夫婦の協力が大切と聞きますね。

佐 ちょうどその頃、私も仕事が忙しくて、あまり家でも話す時間がなく、彼女がクリニックで聞いてきた話も聞き流していました。結局、体外受精を試みて受精卵凍結という話になったのです。移植して必ず妊娠に繋がる訳ではないと聞いていたので、私は期待もしていませんでした。

カ 無事、妊娠して出産されたんですね。何度かのチャレンジの末、ようやく妊娠安定期までこぎつけ、彼女は喜んでいました。

カ 出産後の子育てはどうだったのでしょうか。

佐 産休、育休を取り、四月から保育園に入園しましたが、育休の間に引越しました。保育園に入りやすく、通勤にも便利なところを彼女が探しました。情報入手も彼女の得意なところなので、ほとんど任せていました。その代わり、引越しの費用や新居の家賃は、私の負担になりました。

カ 働きながら子育てしやすい環境を整えたんですね。

佐 すべて彼女の計算どおりです。しかも一年後には会社を辞めて起業しています。まずまず彼女は仕事にのめり込み、私は協力せざるを得なくなりました。私が彼女のスケジュールに合わせるとい感じですよ。

カ 別れた方がいいかとまで考えているようですね。

佐 本音を言えば、周りの友人のように自由に飲みに行きたいし、ゴルフもしたい、自分の稼ぎを自由に使いたいです。彼女が出張から帰れば娘は彼女にべったりで、私が不要にも思えます。私はベビーシッター代わりと財布ではないのかなと寂しくなります。

カ 話し合いはされているのでしょうか。
佐 彼女が家にいる日は、私は目一杯残業して、遅く帰るようにしています。休みの日は、娘を彼女が習い事で連れ回すので話す時間がありません。この生活が続くなら離婚もやむを得ないと思います。親権も彼女でいいです。

カ 佐藤さんとお子さんで過ごす時間も多いのが今の生活ですね。

佐 解放されたいのかもしれませんが、佐藤さんにとって娘さんはどういう存在ですか？

佐 娘はかわいいし、明るく活発で成長が楽しみではあるのです。

カ 離婚となると、お子さんへの影響は大いそうですね。

佐 そうですね。妻への不信感から、離婚というところまでは飛躍がありません。

カ 娘さんにとっての佐藤さんはどのようなお父さんでしょう。

佐 一緒にいる時間が長いですからね。好きなお飯も作ります。寝る前に絵本を読むのですが、あれ読んでこれ読む

でとねだられます。妻不在の土日は、ちゃちゃっと掃除して習い事に送り、帰りは公園で遊んで帰るので「習い事はパパと一緒にがいい」なんて、娘がこっそり言うんです。私がいなくなったら娘は困惑しますよね。

カ 佐藤さんの率直な気持ちを伝えるのは難しいでしょうか。

佐 ずっと妻主導できて、なかなか私の考えを言い出しにくい状況でした。起業までした彼女に嫉妬のような気持ちさえあります。彼女も私に物足りなさを感じているのかもしれませんが、今更、話すきっかけが作りにくいですが、子どもの教育や将来のこと、家計のこと、ちゃんと話し合わないといけませんね。

.....
共に仕事を持ち、子どもを育てる夫婦には物心両面の協力が必要ですが、双方仕事に邁進するうちにコミュニケーションがおざなりになり、距離が空いてしまうこともあります。子どもは、両親間の距離を感じ取っているかも知れません。子どもの存在の重要性に気づいた佐藤さん、夫婦の対話の新しい一歩を踏み出す覚悟で帰られました。

夫婦での話し合いが難しい場合は、家庭裁判所で円満調整を求める夫婦関係調整の調停を行うことができます。

